

33年のころ

元町大火が発生す
四月 緑ヶ丘小学校が開校する。

道立留萌職業訓練所が設置
五月 元町で大火が発生、百八十五棟(二百五十二戸)が灰燼となる。
十月 日刊留萌新聞(夕刊留萌)

が発刊される。
十一月 高橋正吉に市文化奨励賞を贈与する。
十二月 本町(博品館)で大火発生

34年のころ

大和炭炭の閉山

四月 大島仁三郎が道議に当選。
七月 大和炭炭が閉山する。
十一月 藤山町生活改善センターが

落成した。
佐藤作太郎に市文化奨励賞を贈与する。

35年のころ

北岸にローダーが完成

二月 留萌ライオンズクラブが結

成される。
三月 水道第四期拡張工事に着手する。
四月 酪農学園短大留萌分校が開校される。

八月 N H K留萌通信部が設置。
北岸ローダーが完成する。
十一月 第一回市民体育大会が開催。十一月 第一回市民文化祭が開催。

36年のころ

留萌・札幌間に急行走る

一月 留萌・札幌間に急行走るも「い号」が運行する。
二月 留萌ロータリークラブが結

成される。
四月 留萌中学校春日分校ができる。
六月 天塩鉄道(株)が留萌・達布間のバス運行を開始。
七月 小樽検疫所留萌出張所が設

置。
十一月 東光小学校校鼓笛隊に市文化奨励賞が贈与される。
港灣第一次五ヶ年計画が実施される。

37年のころ

市長に原田栄一が就任

三月 市長に原田栄一が就任。
四月 北光中学校が開校する。
七月 市総合庁舎が落成する。

開局。
留萌みなとライオンズクラブが結成する。

三月 留萌市愛情銀行が設置。
九月 札幌直通バスが運行する。
十二月 留萌市の市章(デザイン松尾珍一)を制定する。

38年のころ

常陸宮(義宮)来留

四月 武内豊誌が道議に当選。
七月 常陸宮(義宮)が巡視船宗谷で来留。

八月 留萌社会保険事務所が設置。
十一月 留萌日日新聞(留萌毎日)が発刊となる。
十二月 留萌・旭川間に直通準急(るもい号)が運行する。
H B C留萌サテライト局が

四月 留萌商工青年学園が開園。
七月 三泊町高台にゴルフ場が完成。

39年のころ

留萌市旗が制定された

二月 市立総合病院(東分院併合)を新築設置する。
五月 塩見町地区臨海土地造成事業を始める。
六月 留萌高校の新築工事が始

る。
十二月 留萌市事業内職業訓練所が設置となる。

十一月 阿部清晴、長嶋都太郎に市文化奨励賞を贈与する。
留萌市の市旗を制定する。
湊神社が設置される。
十二月 千鳥ヶ丘ジャンプ台ができる。
外港で陽光丸が座礁する。
駅前広場造成事業を始める

40年のころ

市制二十年を迎える

四月 東典俊が道議に当選。
六月 石炭専用船慶洋丸が北防波堤で座礁、八人の犠牲者を出す。
八月 花園地区区画整理事業が完成する。

留萌小学校の新築工事が始まる。
留萌市青少年会館を設置。
水道第五期拡張計画に着手する。
市功労者に市功労章を贈与する。
留萌市老人福祉大会が開催

十一月 松橋英三に文化賞を贈与する。
留萌小学校(旧校舎)が全焼する。

41年のころ

留萌小学全校全焼す

二月 留萌港湾合同庁舎が完成。
八月 花園地区区画整理事業が完成する。

石炭専用船慶洋丸が北防波堤で座礁、八人の犠牲者を出す。
花園地区区画整理事業が完成する。

十一月 松橋英三に文化賞を贈与する。
留萌小学校(旧校舎)が全焼する。

42年のころ

電話がル式即時通話になる。

七月 天塩炭礦(株)がバス事業を除いて閉鎖する。
十月 開基九十周年、市制二十周年記念事業を行なう。

留萌小学校の新築工事が始まる。
留萌市青少年会館を設置。
水道第五期拡張計画に着手する。
市功労者に市功労章を贈与する。
留萌市老人福祉大会が開催

十一月 阿部清晴、長嶋都太郎に市文化奨励賞を贈与する。
留萌市の市旗を制定する。
湊神社が設置される。
十二月 千鳥ヶ丘ジャンプ台ができる。
外港で陽光丸が座礁する。
駅前広場造成事業を始める

43年のころ

留萌市旗が制定された

二月 市立総合病院(東分院併合)を新築設置する。
五月 塩見町地区臨海土地造成事業を始める。
六月 留萌高校の新築工事が始

る。
十二月 留萌市事業内職業訓練所が設置となる。

十一月 阿部清晴、長嶋都太郎に市文化奨励賞を贈与する。
留萌市の市旗を制定する。
湊神社が設置される。
十二月 千鳥ヶ丘ジャンプ台ができる。
外港で陽光丸が座礁する。
駅前広場造成事業を始める

44年のころ

留萌小学全校全焼す

二月 留萌港湾合同庁舎が完成。
八月 花園地区区画整理事業が完成する。

石炭専用船慶洋丸が北防波堤で座礁、八人の犠牲者を出す。
花園地区区画整理事業が完成する。

十一月 松橋英三に文化賞を贈与する。
留萌小学校(旧校舎)が全焼する。

45年のころ

ヘインズ丸が遭難

一月 新信砂上水場が完成する。
十一月 田中進一に市文化賞、劇団かざぐるまに市文化奨励賞

留萌市史が完成する。
初市の市長と語る集いを開催。
副港埋立造成事業が始る。
八月 留萌高校野球部、初の甲子園出場する。
九月 市営火葬場が大和町に完成する。
東岸船溜り工事に着手。
市功労者八幡久栄市議逝去

十二月 住之江児童館が完成する。

46年のころ

留高夢の甲子園へ

留萌市史が完成する。
初市の市長と語る集いを開催。
副港埋立造成事業が始る。
八月 留萌高校野球部、初の甲子園出場する。
九月 市営火葬場が大和町に完成する。
東岸船溜り工事に着手。
市功労者八幡久栄市議逝去

十二月 住之江児童館が完成する。

47年のころ

市長ウランウデ市を訪問、正式に姉妹都市の調印

市長ウランウデ市を訪問、正式に姉妹都市の調印

二月 札幌オリピック聖火が留萌を通過。
四月 市内四ヶ所をスクールゾーンに設定。
騒音公害規制地域の指定を



38年常陸宮来留



35年第一回市民体育大会



改築前の留萌駅舎



焼失前の港南中学校



留萌市長 原田 栄一

市制25周年を迎えて

留萌市は、ことし、市制二十五周年という意義ある年を迎えました。かつては、鯉の千石場所として栄えた留萌市も、昭和二十二年十月市政施行後は、国の重要港灣として貿易港として、大きく躍進し今や道北の経済を担うまでに生長しており、名実ともにその将来に大きな期待が寄せられています。また、この意義ある年に、スマートな市民センターの建設に着手し、文字通り、市民の文化、教養推進の場として完成が待たれてい

受ける。
五月 元川・千鳥・住之江町の字名を改正した。
六月 港南中学校建設に着手。
七月 原田市長がウランウデ市を訪問、正式に姉妹都市の縁結びをする。
九月 老人福祉センター建設に着手する。



ウランウデでの調印をする原田市長